

学生のためのテキスタイル〈プロ〉デザイン講座

主催 日本テキスタイルデザイン協会
教育研究部会

日本テキスタイルデザイン協会(TDA)教育研究部会(田中秀穂常務理事、山本清理事、新井明子理事)が、テキスタイル業界の実務者を講師に迎え、学生を対象とした“学生のためのテキスタイル〈プロ〉デザイン講座”を渋谷区神宮前にある青山ウイメンズプラザで開講しています。この講座は年間10講座を行う予定で、4月27日を第一回目として、5月25日、6月22日と、毎月一回のペースで行われています。当初、定員20名の予定で受講希望者を募ったのですが、思わぬ反響の大きさとで毎回40名をこえる学生の熱気で満ちた講座となっています。

この“学生のためのテキスタイル〈プロ〉デザイン講座”は、田中常務理事が中心となって企画されたもので、テキスタイルの未来について、長期、中期、短期における企画、実践を行って行くという、教育研究委員会の構想に基づいて開講されたものです。その講座は、将来、主にインテリアやファッションなどのテキスタイル業界でプロとして活躍を望む学生の為に、業界で評価されている実務者に講義してもらうことで、大学の授業ではなかなか得ることのできない企業や、或いはデザイン事務所の中での企画・デザイン業務のことについて理解してもらおう、という主旨で始まりました。さらには、学生が実社会に出た時に体験するギャップを少しでも少なくすることを目的としています。

そのテキスタイル〈プロ〉デザイン講座のシステムは、年間10回の講座を3講座でワンクールとし、その都度、次のワンクールの受講を更新して行くという、学生が自分の都合に合わせて参加しやすいように、そして、途中からでも、また興味のある講座だけでも参加できるような制度をとっています。現在、4月27日第一回目が開講され、5月25日に第二回目が開講されました。先に記したように開講された2回の講座とも40名を超える学生の参加で、2回とも講義室は満杯の状態でした。また、講師の野末和志氏の熱心で、時として辛辣な業界の本音とも言える、つまり、学生にとっては少々厳しすぎるような内容を交えた講話は、学生にとっては常に新鮮な話で、誰もが真剣にメモをとっていました。自称“プロ”のテキスタイルデザイナーを名乗っていた私にとっても、なかなか興味深い内容で、恥ずかしながら勉強させられる内容でした。その熱気を説明するには、青山ウイメンズプラザの閉館案内の放送を恨めしく聴きながら、全員でいつも慌てて退館しなければならなかった、という状況をお話すれば理解していただけると思います。



ちなみにTDAニュースを購読している学生でこのテキスタイル〈プロ〉デザイン講座にまだ参加していないが興味をもっている学生の為に、今までの講義内容と今後の予定を記しておきます。(ただし、現在第6回目以降は日にちが確定していません。)

なお、詳しい内容については武蔵野美術大学テキスタイル研究室(TEL&FAX042-342-6064、もしくはe-mail tanaka@musabi.ac.jp)にお問い合わせ下さい。また、この講座についてのインフォメーションは次のホームページでも見ることが出来ます。
(<http://www.spinn-aker.co.jp/texnet.html>) <TEXNET >

最後になりましたが、この“学生のためのテキスタイル〈プロ〉デザイン講座”を受講した学生の一人一人の真剣な眼差しを目の当たりにすると、将来のテキスタイル業界もきっと変わることだろうと心強く思うと同時に、このような実務的な講座を学生の時に受講できる機会を今さらながら羨ましく思ったことを書き添えておきます。

(レポート 中島 良弘)

第1回 4月27日(金) …ビジネスコンセプトとデザイン(野末和志)

第2回 5月25日(金) …商品企画とデザイン企画(野末和志)

第3回 6月22日(金) …デザインワークのマネジメント

(野末和志・山本 清)

第4回 7月13日(金) …テキスタイル・ファブリケーション(野末和志)

第5回 9月21日(金) …ファッションファブリックとは(新井明子)

第6回 10月 …ライフスタイルのデザイン企画

第7回 11月 …服地とホームテキスタイル

第8回 12月 …気分としてのファブリックのボディ設計

2002年

第9回 1月 …カラーワークの実務色票

第10回 2月 …職種の創造・リデザイン/グローバルデザインへの展開